

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2011年12月28日(当初設定日)から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と利金等収益の確保を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指す(金に係る外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。)とともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行います。)することを基本とします。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。



PICTET

1805

ピクテ・
ゴールド・インカム・ファンド
(毎月分配型)
愛称 ゴールド・インカム

運用報告書(全体版)

第46期(決算日2015年10月15日) 第49期(決算日2016年1月15日)
第47期(決算日2015年11月16日) 第50期(決算日2016年2月15日)
第48期(決算日2015年12月15日) 第51期(決算日2016年3月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「ピクテ・ゴールド・インカム・ファンド(毎月分配型)」は、2016年3月15日に第51期の決算を行いましたので、第46期から第51期までの運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 0120-56-1805

受付時間：委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページ：www.pictet.co.jp

■最近5作成期の運用実績

決 算 期	(分配落)	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額	
		税込み 分配金	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	%	百万円	
第5 作成期	22期(2013年10月15日)	9,197	50	△ 3.1	98.9	92
	23期(2013年11月15日)	9,290	50	1.6	99.0	94
	24期(2013年12月16日)	9,190	50	△ 0.5	98.9	93
	25期(2014年1月15日)	9,241	50	1.1	98.8	95
	26期(2014年2月17日)	9,489	40	3.1	99.1	99
第6 作成期	27期(2014年3月17日)	9,855	40	4.3	99.1	103
	28期(2014年4月15日)	9,442	40	△ 3.8	98.9	100
	29期(2014年5月15日)	9,278	40	△ 1.3	98.9	97
	30期(2014年6月16日)	9,031	40	△ 2.2	99.0	97
	31期(2014年7月15日)	9,142	40	1.7	98.9	99
	32期(2014年8月15日)	9,241	40	1.5	99.0	101
第7 作成期	33期(2014年9月16日)	9,059	40	△ 1.5	99.0	98
	34期(2014年10月15日)	8,981	40	△ 0.4	98.9	97
	35期(2014年11月17日)	9,177	40	2.6	98.6	103
	36期(2014年12月15日)	9,637	40	5.4	99.1	110
	37期(2015年1月15日)	9,628	40	0.3	100.5	109
	38期(2015年2月16日)	9,708	25	1.1	99.0	112
第8 作成期	39期(2015年3月16日)	9,274	25	△ 4.2	98.3	122
	40期(2015年4月15日)	9,431	25	2.0	98.2	128
	41期(2015年5月15日)	9,487	25	0.9	99.0	131
	42期(2015年6月15日)	9,536	25	0.8	99.0	134
	43期(2015年7月15日)	9,283	25	△ 2.4	99.0	130
	44期(2015年8月17日)	9,039	25	△ 2.4	99.0	128
	45期(2015年9月15日)	8,645	25	△ 4.1	99.1	124
第9 作成期	46期(2015年10月15日)	9,085	25	5.4	99.0	120
	47期(2015年11月16日)	8,598	25	△ 5.1	100.3	114
	48期(2015年12月15日)	8,393	25	△ 2.1	99.0	63
	49期(2016年1月15日)	8,285	25	△ 1.0	99.0	61
	50期(2016年2月15日)	8,946	3	8.0	96.6	64
	51期(2016年3月15日)	9,016	3	0.8	99.2	55

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託証券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	
第 46 期	(期 首)2015 年 9 月 15 日	8,645	—	99.1
	9 月末	8,829	2.1	99.0
	(期 末)2015 年 10 月 15 日	9,110	5.4	99.0
第 47 期	(期 首)2015 年 10 月 15 日	9,085	—	99.0
	10 月末	8,991	△ 1.0	99.0
	(期 末)2015 年 11 月 16 日	8,623	△ 5.1	100.3
第 48 期	(期 首)2015 年 11 月 16 日	8,598	—	100.3
	11 月末	8,426	△ 2.0	99.0
	(期 末)2015 年 12 月 15 日	8,418	△ 2.1	99.0
第 49 期	(期 首)2015 年 12 月 15 日	8,393	—	99.0
	12 月末	8,335	△ 0.7	98.1
	(期 末)2016 年 1 月 15 日	8,310	△ 1.0	99.0
第 50 期	(期 首)2016 年 1 月 15 日	8,285	—	99.0
	1 月末	8,520	2.8	98.2
	(期 末)2016 年 2 月 15 日	8,949	8.0	96.6
第 51 期	(期 首)2016 年 2 月 15 日	8,946	—	96.6
	2 月末	8,895	△ 0.6	99.1
	(期 末)2016 年 3 月 15 日	9,019	0.8	99.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

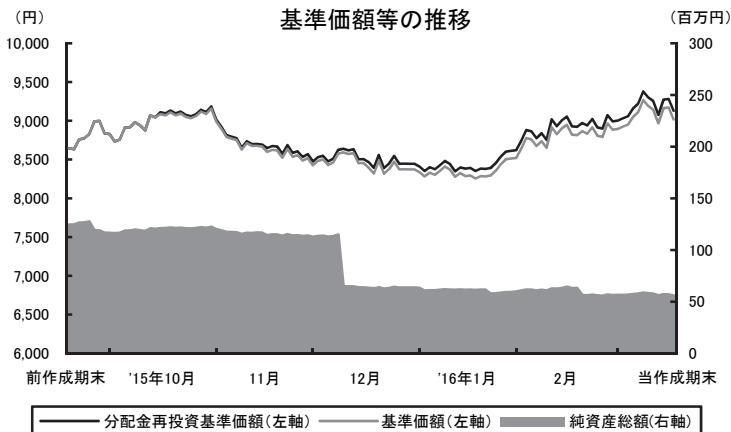
(注2) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

■ 当作成期中の運用状況と今後の運用方針(2015年9月16日から2016年3月15日まで)

1. 基準価額等の推移

当作成期の分配金再投資基準価額*は、5.6%の上昇となりました。

※「分配金再投資基準価額」は、購入時手数料等を考慮せず、税引前分配金を再投資した場合の評価額を表します。以下同じ。



○ 基準価額の high・安値

決算期	期首	期中高値	期中安値	期末
第46期	15/9/15	15/10/15	15/9/16	15/10/15
	8,645円	9,110円	8,633円	9,110円
第47期	15/10/15	15/10/29	15/11/16	15/11/16
	9,085円	9,160円	8,623円	8,623円
第48期	15/11/16	15/11/20	15/12/15	15/12/15
	8,598円	8,637円	8,418円	8,418円
第49期	15/12/15	15/12/17	16/1/13	16/1/15
	8,393円	8,485円	8,277円	8,310円
第50期	16/1/15	16/2/15	16/1/19	16/2/15
	8,285円	8,949円	8,255円	8,949円
第51期	16/2/15	16/3/7	16/2/24	16/3/15
	8,946円	9,267円	8,792円	9,019円

(注)各期末の基準価額は分配金込みです。

◇ 主な変動要因

- 上昇▲ ・金の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・実質的に組入れている債券からの利金収入

2. 投資環境

- ・金価格は、世界的な株安に対する懸念や中東及び欧州などにおける地政学的リスクの高まりに加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)のイエレン議長の米議会証言を受けて利上げペースは緩やかなものになるとの観測が台頭したことなどを背景に上昇しました。
- ・世界の国債市場は、原油価格の低迷に伴い世界的にインフレ見通しが低下したことや、欧州中央銀行(ECB)が2016年3月の金融政策決定会合で追加金融緩和を実施するとの期待が高まったことなどから上昇(利回りは低下)しました。また、世界的な景気減速懸念や株式市場の下落などを受けてリスク回避姿勢が強まったことも国債市場の上昇(利回りは低下)に寄与しました。

3. 組入状況

投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指すとともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行いました。)してまいりました。

投資先ファンドの組入比率は以下のとおりとしました。

投資先ファンド	組入比率		当作成期 騰落率
	前作成期末	当作成期末	
ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド	89.1%	89.2%	+6.3%
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	10.0%	10.1%	+2.1%

<投資先ファンドの組入状況>

ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンドーフィジカル・ゴールド

主に金に投資を行いました。

最新の年次報告書等で開示されている2015年9月30日現在の組入状況につきましては、12ページに記載の組入資産の明細をご参照ください。

ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド

世界主要国のソブリン債券を主要投資対象とし、投資に当たっては、発行体の信用力や財政状況などを考慮したうえで、円インカム*が相対的に高いソブリン債券に着目し、投資を行いました。

※「円インカム」とは、円建てソブリン債券はその金利水準を指し、外貨建てソブリン債券は委託者が一定の条件で独自に算出した為替ヘッジに係るコストを控除した金利水準を指します。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りました。

◇国別組入比率(当作成期末現在)

国名	組入比率
シンガポール	37.5%
スウェーデン	31.5%
アメリカ	30.9%

※組入比率は当該マザーファンドにおける評価額の割合で、組入債券の合計を100%として計算しています。

4. 収益分配金

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金および分配金の計算過程につきましては、10 ページをご覧ください。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1 万口当たり、税引前)

項 目	第 46 期	第 47 期	第 48 期	第 49 期	第 50 期	第 51 期
	自 2015年 9 月 16 日 至 2015年 10 月 15 日	自 2015年 10 月 16 日 至 2015年 11 月 16 日	自 2015年 11 月 17 日 至 2015年 12 月 15 日	自 2015年 12 月 16 日 至 2016年 1 月 15 日	自 2016年 1 月 16 日 至 2016年 2 月 15 日	自 2016年 2 月 16 日 至 2016年 3 月 15 日
当期分配金	25	25	25	25	3	3
(対基準価額比率)	0.274	0.290	0.297	0.301	0.034	0.033
当期の収益	2	—	—	—	2	2
当期の収益以外	22	25	25	25	0	0
翌期繰越分配対象額	284	259	234	209	208	207

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注 2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注 3) この様式で示される「当期の収益」は、当ファンドが投資する投資先ファンドからの分配金を受取った場合、実質的に「当期の収益以外」の原資が含まれて表示されることがあります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

足元では、米国の金融引き締めに伴う利上げ観測の行方が、米ドルの動きに影響を与え、金価格の変動要因となる状況が続いています。また、ECB や日本銀行による追加の量的金融緩和は、金融市場の流動性の増減を通じて金価格に影響を与えることから、今後の市場動向には注視が必要と考えます。また、中東情勢などを背景としたリスク回避の動きも、金需要に影響を与える可能性があると見ています。

金は株式や債券などの価格との相関が低く、インフレに強い性質を有することから、分散投資の観点で重要な資産といえます。また、地上に存在する全ての金には限りがあり、「価値の貯蔵手段」として中長期的に選好されるという構図に変わりはなく、安全資産としての側面から長期的に保有することが重要と考えます。

(2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、金価格の値動きを概ねとらえることを目指す(金に係る外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。)とともに、公社債に投資(外貨建資産については為替ヘッジを行います。)することを基本とします。

■1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当作成期(第46期～第51期) (2015年9月16日～2016年3月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平均基準価額	8,666円	—	作成期中の平均基準価額(月末の平均値)です。
(a) 信託報酬 (投 信 会 社)	51円 (14)	0.585% (0.161)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.403)	・ 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	・ ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.028	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.027)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.613	

- (注1) 上記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
(注3) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。
(注4) その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■当作成期中の売買および取引の状況(2015年9月16日から2016年3月15日まで)

(1) 投資信託受益証券、投資証券

決 算 期		第 46 期 ～ 第 51 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	邦 貨 建	口	千円	口	千円
	ピクテ(CH)プレシヤス・メタル・ファンドー フ イ ジ カ ル ・ ゴ ー ル ド	482	6,397	5,369	70,993

- (注1) 金額は受渡代金です。
(注2) 単位未満は切り捨てています。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期		第 46 期 ～ 第 51 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	2,014	2,502	7,644	9,448

- (注) 単位未満は切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等(2015年9月16日から2016年3月15日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■自社設定投資信託受益証券等の状況等(2015年9月16日から2016年3月15日まで)

該当事項はありません。

■特定資産の価格等の調査(2015年9月16日から2016年3月15日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細(2016年3月15日現在)

(1) 邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第8作成期末(第45期末)	第9作成期末(第51期末)		
	口数	口数	評価額	比率
ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド フィジカル・ゴールド	口 8,449	口 3,563	千円 49,613	% 89.2
合計	8,449	3,563	49,613	89.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(2) 親投資信託残高

ファンド名	第8作成期末(第45期末)	第9作成期末(第51期末)	
	口数	口数	評価額
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	千口 10,085	千口 4,455	千円 5,593

(注) 単位未満は切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2016年3月15日現在)

項 目	第9作成期末(第51期末)	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 49,613	% 87.3
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド	5,593	9.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,616	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	56,822	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(25,408,616千円)の投資信託財産総額(27,770,182千円)に対する比率は91.5%です。

(注3) ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンドにおける外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=113.90円、1英ポンド=162.63円、1ユーロ=126.42円、1スウェーデンクローネ=13.65円、1デンマーククローネ=16.95円、1ニュージーランドドル=75.96円、1シンガポールドル=82.64円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月15日)、 (2015年11月16日)、 (2015年12月15日)、 (2016年1月15日)、 (2016年2月15日)、 (2016年3月15日)現在

項 目	第46期末	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末
(A) 資 産	121,309,859円	116,101,711円	63,538,950円	61,549,670円	64,370,822円	56,822,128円
コール・ローン等	1,068,291	1,686,646	974,830	857,790	2,348,127	1,455,819
投資信託受益証券(評価額)	107,680,509	102,844,034	56,223,543	54,547,789	55,896,665	49,613,232
ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド(評価額)	11,911,773	11,544,086	6,278,577	6,105,226	6,126,030	5,593,077
未 収 入 金	649,286	26,945	62,000	38,865	—	160,000
(B) 負 債	454,395	2,019,906	400,178	294,533	184,074	1,193,271
未 払 金	—	—	90,732	13,815	—	—
未払収益分配金	332,586	331,718	188,072	184,839	21,524	18,510
未 払 解 約 金	—	1,559,999	22,050	30,712	99,398	1,118,873
未 払 信 託 報 酬	116,476	122,576	94,975	62,318	60,390	53,448
その他未払費用	5,333	5,613	4,349	2,849	2,762	2,440
(C) 純資産総額(A-B)	120,855,464	114,081,805	63,138,772	61,255,137	64,186,748	55,628,857
元 本	133,034,487	132,687,326	75,228,886	73,935,664	71,748,904	61,701,074
次期繰越損益金	△ 12,179,023	△ 18,605,521	△ 12,090,114	△ 12,680,527	△ 7,562,156	△ 6,072,217
(D) 受 益 権 総 口 数	133,034,487口	132,687,326口	75,228,886口	73,935,664口	71,748,904口	61,701,074口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,085円	8,598円	8,393円	8,285円	8,946円	9,016円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>

(貸借対照表関係)

(注1) 当ファンドの第46期首元本額は143,676,365円、第46～51期中追加設定元本額は12,477,745円、第46～51期中一部解約元本額は94,453,036円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第46期末0.9085円、第47期末0.8598円、第48期末0.8393円、第49期末0.8285円、第50期末0.8946円、第51期末0.9016円です。

(注3) 元本の欠損

当作成期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は6,072,217円です。

■ 損益の状況

第46期(自2015年9月16日至2015年10月15日)、第49期(自2015年12月16日至2016年1月15日)
 第47期(自2015年10月16日至2015年11月16日)、第50期(自2016年1月16日至2016年2月15日)
 第48期(自2015年11月17日至2015年12月15日)、第51期(自2016年2月16日至2016年3月15日)

項目	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
(A) 配当等収益	3円	3円	45円	3円	4円	-円
受取利息	3	3	45	3	4	-
(B) 有価証券売買損益	6,266,084	△ 5,953,382	△ 1,248,180	△ 534,828	4,691,046	504,994
売買益	6,501,015	74,517	198,880	45,596	4,702,007	661,447
売買損	△ 234,931	△ 6,027,899	△ 1,447,060	△ 580,424	△ 10,961	△ 156,453
(C) 信託報酬等	△ 121,809	△ 128,189	△ 99,324	△ 65,167	△ 63,152	△ 55,888
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,144,278	△ 6,081,568	△ 1,347,459	△ 599,992	4,627,898	449,106
(E) 前期繰越損益金	△ 11,683,989	△ 5,492,515	△ 6,456,520	△ 7,324,791	△ 7,372,230	△ 2,349,637
(F) 追加信託差損益金	△ 6,306,726	△ 6,699,720	△ 4,098,063	△ 4,570,905	△ 4,796,300	△ 4,153,176
(配当等相当額)	(4,077,038)	(3,771,775)	(1,950,438)	(1,732,261)	(1,501,976)	(1,288,269)
(売買損益相当額)	(△ 10,383,764)	(△ 10,471,495)	(△ 6,048,501)	(△ 6,303,166)	(△ 6,298,276)	(△ 5,441,445)
(G) 計(D+E+F)	△ 11,846,437	△ 18,273,803	△ 11,902,042	△ 12,495,688	△ 7,540,632	△ 6,053,707
(H) 収益分配金	△ 332,586	△ 331,718	△ 188,072	△ 184,839	△ 21,524	△ 18,510
次期繰越損益金(G+H)	△ 12,179,023	△ 18,605,521	△ 12,090,114	△ 12,680,527	△ 7,562,156	△ 6,072,217
追加信託差損益金	△ 6,602,356	△ 7,031,438	△ 4,286,135	△ 4,755,744	△ 4,800,436	△ 4,158,144
(配当等相当額)	(3,781,645)	(3,440,201)	(1,762,558)	(1,547,749)	(1,498,068)	(1,283,366)
(売買損益相当額)	(△ 10,384,001)	(△ 10,471,639)	(△ 6,048,693)	(△ 6,303,493)	(△ 6,298,504)	(△ 5,441,510)
繰越損益金	△ 5,576,667	△ 11,574,083	△ 7,803,979	△ 7,924,783	△ 2,761,720	△ 1,914,073

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第46期計算期間末における費用控除後の配当等収益(36,956円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(4,077,275円)より分配対象収益は4,114,231円(10,000口当たり309円)であり、うち332,586円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注5) 第47期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(3,771,919円)より分配対象収益は3,771,919円(10,000口当たり284円)であり、うち331,718円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注6) 第48期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,950,630円)より分配対象収益は1,950,630円(10,000口当たり259円)であり、うち188,072円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注7) 第49期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,732,588円)より分配対象収益は1,732,588円(10,000口当たり234円)であり、うち184,839円(10,000口当たり25円)を分配金額としています。

(注8) 第50期計算期間末における費用控除後の配当等収益(17,388円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,502,204円)より分配対象収益は1,519,592円(10,000口当たり211円)であり、うち21,524円(10,000口当たり3円)を分配金額としています。

(注9) 第51期計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,542円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,288,334円)より分配対象収益は1,301,876円(10,000口当たり210円)であり、うち18,510円(10,000口当たり3円)を分配金額としています。

(注10) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用は、当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.14%以内の額です。

〈分配金のお知らせ〉

当作成期中の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金および分配金の計算過程は以下の通りです。なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
1万口当たり分配金	25円	25円	25円	25円	3円	3円
費用控除後の配当等収益	36,956円	0円	0円	0円	17,388円	13,542円
費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
収益調整金	4,077,275円	3,771,919円	1,950,630円	1,732,588円	1,502,204円	1,288,334円
分配準備積立金	-円	-円	-円	-円	-円	-円
分配対象収益 (1万口当たり)	4,114,231円 (309円)	3,771,919円 (284円)	1,950,630円 (259円)	1,732,588円 (234円)	1,519,592円 (211円)	1,301,876円 (210円)
分配金額 (1万口当たり)	332,586円 (25円)	331,718円 (25円)	188,072円 (25円)	184,839円 (25円)	21,524円 (3円)	18,510円 (3円)

◇ 分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◇ 分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇ 分配金は普通分配金に課税され、個人の受益者の場合、源泉徴収の税率は20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) となります。(原則として、確定申告は不要です。)

法人の受益者の場合、源泉徴収の税率は15.315% (所得税15%および復興特別所得税0.315%) となります。

(注) 当作成期末現在で適用される内容であり、税制が改正された場合等は変更される場合があります。

◇ 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

該当事項はありません。

<参考情報：投資先ファンドの主な概要>

ピクテ(CH)プレシャス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド クラス I dy JPY 受益証券

形態／表示通貨	スイス籍外国投資信託／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主に金に投資することにより金価格の変動から得られる収益の獲得機会を投資家に提供することを目的とします。 ・費用控除後の金価格の動きに連動することを目指します。
関係法人	管理会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ 保管受託銀行、支払事務代行会社：バンク・ピクテ・アンド・シー・エス・エイ 計算事務代行会社：ファンドパートナー・ソリューションズ(ヨーロッパ)エス・エイ
主な費用	管理報酬等合計：純資産総額の年率0.34%(上限)
決算日	毎年9月30日

ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド受益証券

形態／表示通貨	内国証券投資信託(マザーファンド)／円建て
主な投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・世界主要国のソブリン債券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。 ・投資に当たっては、発行体の信用格付を勘案したうえで、円インカム*が相対的に高いソブリン債券に着目し、ポートフォリオを構築します。 <small>※「円インカム」とは、円建てソブリン債券はその金利水準を指し、外貨建てソブリン債券は委託者が一定の条件で独自に算出した為替ヘッジコストを控除した金利水準を指します。</small> ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図ります。
関係法人	委託会社：ピクテ投信投資顧問株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社) 投資顧問会社：ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド
主な費用	信託報酬はありません。
決算日	毎年12月10日(休業日の場合は翌営業日)

「ピクテ・ゴールド・インカム・ファンド(毎月分配型)」は投資信託証券を主要投資対象としています。
 以下は 2016 年 3 月 15 日現在で組入れている各投資先ファンドの運用状況です。

ピクテ(CH)プレシヤス・メタル・ファンドーフィジカル・ゴールド

■組入資産の明細

項目	2014年 9月30日 現在合計	購入	売却	2015年 9月30日 現在合計	通貨	時価 (単位：米ドル)	総資産に 対する 比率(%)
銀行預入							
－ 預金							
CHF					CHF	10,023.15	0.00
EUR					EUR	8,062.25	0.00
JPY					JPY	986.56	0.00
USD					USD	173,812.56	0.04
預金合計						192,884.52	0.05
銀行預金合計						192,884.52	0.05
貴金属							
アメリカ合衆国							
GR. OR (BARRE 12.5KG 995 OU MIEUX)	9,993,072	494,290	0	10,487,362	USD	375,614,631.87	96.61
GR. OR (LINGOT 1 KG 999.9)	619,938	2,315,778	2,572,752	362,964	USD	12,999,882.47	3.34
						388,614,514.34	99.95
貴金属合計						388,614,514.34	99.95

■損益計算書 (自 2014年10月1日 至 2015年9月30日)

	(単位：米ドル)
受益証券発行に係る受取当期利益	－209,935.76
収益合計	－209,935.76
費用：	
支払利息	269.20
監査報酬	11,100.83
管理報酬	
－ I dy 受益証券	173,066.90
－ P dy 受益証券	625,530.48
－ R dy 受益証券	402,328.44
管理事務報酬	85,146.30
保管受託銀行報酬	212,865.71
その他の費用	32,650.51
受益証券買戻しに係る支払当期利益	－277,688.58
費用合計	1,265,269.79
純利益	－1,475,205.55
実現純売却損	－6,326,396.98
実現損失	－7,801,602.53
未実現売却損(変動)	－33,221,893.38
総利益	－41,023,495.91

ピクテ円インカム・セレクト・マザーファンド

■組入資産の明細(2015年12月10日現在)

外国(外貨建)公社債銘柄別

銘柄名	当 期 末					
	種類	利 率	償還年月日	額面金額	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		%		千米ドル	千米ドル	千円
2.375% US TREASURY N/B	国債証券	2.375	2024/ 8/15	8,660	8,779	1,066,710
4% US TREASURY N/B		4.0	2018/ 8/15	4,830	5,203	632,208
4.75% US TREASURY N/B		4.75	2041/ 2/15	8,580	11,450	1,391,280
5.375% US TREASURY N/B		5.375	2031/ 2/15	180	245	29,863
6.125% US TREASURY N/B		6.125	2027/11/15	760	1,057	128,537
7.25% US TREASURY N/B		7.25	2022/ 8/15	8,540	11,363	1,380,643
8.75% US TREASURY N/B		8.75	2017/ 5/15	12,240	13,626	1,655,655
8.75% US TREASURY N/B		8.75	2020/ 8/15	9,120	12,026	1,461,225
8.875% US TREASURY N/B		8.875	2019/ 2/15	8,490	10,512	1,277,246
小計	—	—	—	—	—	9,023,370
(イギリス)				千ポンド	千ポンド	
1.25% UK TREASURY	国債証券	1.25	2018/ 7/22	2,810	2,843	524,865
3.25% UK TREASURY		3.25	2044/ 1/22	2,090	2,402	443,498
4.25% UK TREASURY		4.25	2032/ 6/ 7	3,820	4,870	898,877
4.25% UK TREASURY		4.25	2055/12/ 7	5,670	8,354	1,541,930
4.5% UK TREASURY		4.5	2042/12/ 7	1,980	2,766	510,531
4.75% UK TREASURY		4.75	2020/ 3/ 7	5,870	6,771	1,249,731
4.75% UK TREASURY		4.75	2038/12/ 7	3,930	5,509	1,016,882
5% UK TREASURY		5.0	2025/ 3/ 7	4,110	5,260	970,985
6% UK TREASURY		6.0	2028/12/ 7	2,270	3,316	612,204
8% UK TREASURY		8.0	2021/ 6/ 7	4,680	6,340	1,170,345
8.75% UK TREASURY		8.75	2017/ 8/25	1,190	1,358	250,761
小計	—	—	—	—	—	9,190,615
(シンガポール)				千シンガポールドル	千シンガポールドル	
2.25% SINGAPORE GOVT	国債証券	2.25	2021/ 6/ 1	15,750	15,880	1,377,017
2.375% SINGAPORE GOVT		2.375	2017/ 4/ 1	29,950	30,492	2,643,969
2.5% SINGAPORE GOVT		2.5	2019/ 6/ 1	25,750	26,535	2,300,882
2.75% SINGAPORE GOVT		2.75	2042/ 4/ 1	6,350	6,172	535,191
2.875% SINGAPORE GOVT		2.875	2030/ 9/ 1	18,320	18,554	1,608,860
3% SINGAPORE GOVT		3.0	2024/ 9/ 1	16,970	17,730	1,537,390
小計	—	—	—	—	—	10,003,311
合計	—	—	—	—	—	28,217,297

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨てています。

■1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2円 (2)
合 計	2円

(注1) 左記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)その他費用は、当期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入しています。